

一般社団法人日本看護系学会協議会
2023 年度社員総会 議事録

日時：2023 年 6 月 10 日（土）11:00～12:30

方法：現地と WEB でのハイブリット形式

現地開催場所：TKP 東京駅カンファレンスセンター ホール 10A

現地出席理事：浅野みどり、上別府圭子（副会長）、萱間真美（会長）、
酒井郁子、佐々木吉子、西村ユミ、眞嶋朋子、山川みやえ

オンライン出席理事：荒木田美香子、池松裕子、鎌倉やよい、吉田俊子

現地出席監事：小松浩子、村嶋幸代（※五十音順、敬称略）

参加学会：46 学会（日本赤十字看護学会、一般社団法人日本小児看護学会、一般社団法人日本腎不全看護学会、一般社団法人日本公衆衛生看護学会、一般社団法人日本老年看護学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、一般社団法人日本看護管理学会、一般社団法人日本クリティカルケア看護学会、日本精神保健看護学会、日本がん看護学会、日本産業看護学会、(社)日本フォレンジック看護学会、日本アディクション看護学会、日本看護医療学会、日本慢性看護学会、一般社団法人日本母性看護学会、日本 NP 学会、一般社団法人日本放射線看護学会、千葉看護学会、日本運動器看護学会、高知女子大学看護学会、日本在宅ケア学会、日本看護学教育学会、一般社団法人日本地域看護学会、日本生殖看護学会、公益社団法人日本看護科学学会、日本看護教育学学会、一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会、一般社団法人日本救急看護学会、日本看護福祉学会、日本新生児看護学会、北日本看護学会、一般社団法人日本看護倫理学会、一般社団法人日本助産学会、一般社団法人日本看護研究学会、日本看護診断学会、日本看護歴史学会、看護教育研究学会、日本家族看護学会、一般社団法人日本災害看護学会、一般社団法人日本看護技術学会、日本手術看護学会、日本ニューロサイエンス看護学会、一般社団法人聖路加看護学会、日本在宅看護学会、一般社団法人日本循環器看護学会）
委任状 3 学会含む

※オンライン回答フォーム上で記載の学会名及び回答順に基づく

欠席学会：3 学会（日本難病看護学会、日本ルーラルナーシング学会、日本母子看護学会）

議長：萱間真美（会長）

議事録作成者：萱間真美（会長）

I. 開会宣言

萱間真美会長より、定款第 13 条の 5 に基づき会長が議長を務めることが確認され、2023 年度社員総会の開会の宣言がなされた。

II. 定足数の確認と会議成立宣言

萱間会長より、本総会は、以下のとおり定足数に達する社員の出席（委任状及び議決書を含む）を認めたことから、定款の 15 条に基づき本総会は適法に成立した旨を告げ、議事に入った。

議決権のある社員総数	49
総社員の議決権の数	49
出席社員数	43 学会（委任状 3 学会）
この議決権の総数	46

III. 会長挨拶

萱間会長より、意見交換会・社員総会参加に対する 謝意と開会挨拶が述べられた。

IV. 報告事項

1. 2022 年度の活動報告

資料に基づき、山川理事より庶務報告、萱間会長より、意見交換会・理事会の報告がなされた。

- 1) 庶務報告
- 2) 2022 年度意見交換会・理事会報告

2. 各事業報告

各担当理事より、資料に基づき報告された。

[社員相互の情報交換]

- 1) ニュースレター
- 2) ホームページ管理

[日本学術会議及び国内外の学術組織との交流・相互協力]

- 3) 日本学術会議等との相互協力
- 4) APN 資格制度構築に向けた活動の推進
- 5) 医療安全推進における他機関との協力

[社員学会の学会活動の支援]

- 6) 公的研究費拡大推進
- 7) 看護系学会誌編集における倫理推進
- 8) 看護ケアガイドラインの開発普及の推進

9) 災害における看護の学会連携

10) 将来構想プロジェクト

<質疑応答>

日本看護倫理学会・日本放射線看護学会 太田

公的研究費拡大推進の事業報告にあった個人情報の取扱いについて確認したい。元々学会が会員の管理のために会員情報を取扱うのは、研究目的ではないため、色々な規定を作らなければいけないと思うが、それが今まで免除されていたが、免除されなくなったため、個人情報保護規定を作成しなさいといった説明に聞こえたが、どのような趣旨か再度説明をお願いしたい。

公的研究費拡大推進 担当理事 鎌倉

令和3年改正の個人情報保護法で学術研究にかかる適用除外規定の見直しがあり、民間業者と同様に規律を作る安全管理措置と、本人からの開示請求への対応が適用されることとなった。個人情報についての問い合わせ先には、理事長名を記載すること、Cookie等に関する取扱いを明記することが必要になり、取り扱いについて記録を残すことが大きなところかと思う。

日本看護倫理学会・日本放射線看護学会 太田

先ほどの説明や、案内文の中にある一律に法律の適用除外という文面が、研究目的のための個人情報保護法の免除と、組織管理の際の個人情報の適用についてが、混同しているように思えたため確認をした。元々各組織はこういった規定を作っていなければならなかったということで間違いはないと思う。

3. 各事業計画

各担当理事より、資料に基づき報告され、質疑応答は特になかった。

[社員相互の情報交換]

- 1) ニュースレター
- 2) ホームページ管理

[日本学術会議及び国内外の学術組織との交流・相互協力]

- 3) 日本学術会議等との相互協力
- 4) APN 資格制度構築に向けた活動の推進
- 5) 医療安全推進における他機関との協力

[社員学会の学会活動の支援]

- 6) 公的研究費拡大推進

- 7) 看護系学会誌編集における倫理推進
- 8) 看護ケアガイドラインの開発普及の推進
- 9) 災害における看護の学会連携
- 10) 将来構想プロジェクト

4. 役員選挙総括

塩飽選挙管理委員長より、資料に基づき報告され、質疑応答は特になかった。

V. 審議事項

議案1 令和4年度決算報告

佐々木理事より、資料に基づき説明され、資料22ページの2022年度決算について、以下2点の修正が報告された。質疑応答は特になかった。

2022年度決算案 経常費用の部

- ・当期経常増減額：1,290,230円 → 1,290,222円
- ・法人住民税：643,308円 → 643,300円

→出席会員からの過半数をもって承認された。

議案2 令和4年度監査報告

村嶋監事より、資料に基づき監査報告がされ、質疑応答は特になかった。

→出席会員からの過半数をもって承認された。

議案3 2023年度予算案について

佐々木理事より、資料に基づき説明され、資料25ページの令和5(2023)年度予算について、以下2点の修正が報告された。質疑応答は特になかった。

2022年度決算予想 経常費用の部

- ・当期経常増減額：1,290,230円 → 1,290,222円
- ・法人住民税：643,308円 → 643,300円

→出席会員からの過半数をもって承認された。

議案4 定款の改正

萱間会長より、資料に基づき説明がされた。

新旧対照表の委員会名が旧案になっており、34ページにある変更案に記載のある委員会名が正しいことの報告がされた。

→出席会員からの過半数をもって承認された。

議案5 新役員の承認

萱間会長より、資料に基づき、以下9名の理事と2名の監事の選任について報告がなされた。

→出席会員からの過半数をもって承認された。

理事 安達 久美子、井上 智子、上別府 圭子、酒井 郁子、佐々木 幾美、
佐藤 正美、田高 悦子、別府 千恵、前田 ひとみ

監事 浅野 みどり、太田 喜久子

議案6 新会長選出及び指名理事の承認

萱間会長より、以下の新会長について、口頭にて報告がなされた。

上別府新会長より、資料掲示により、指名理事の推薦がなされた。

→出席会員からの過半数をもって承認がされた。

続いて、担当委員会とともに新理事の紹介がなされ、それぞれの出席理事より一言挨拶がなされた。

新会長 上別府 圭子

新副会長 酒井 郁子

指名理事 池田 真理、西村 ユミ、山川 みやえ

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は12:30に閉会を宣言した。また、以上の決議を明確にするため、本議事録を議長が作成し、議長及び出席監事が次に記名押印する。

2023年6月10日

一般社団法人日本看護系学会協議会

議長（議事録作成者） 萱間真美

監事 小松浩子

監事 村嶋幸代